

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	今後の対応等について
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	%	%	広い活動空間を確保している	・広い活動空間があって雨天時でものびのびと遊ぶことができます。静の活動と動の活動の区切り分けを行い、それぞれの遊びに集中して取り組めるような環境設定の見直しを行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	%	%	基準に沿った職員配置がされている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	%	%	点字ブロック等が設置されている。 車椅子に対応した多目的トイレがある	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	83%	17%	%	毎日終礼時に振り返りを行っています。良かった点、改善点ともに意見を出し合い、より良い支援に努めるよう意識しています 主任会議や職員会議を通じて業務改善の話し合いを行っている	・新型コロナウイルスの影響もありますが、オンライン研修等の参加も積極的に進め資質向上に努めていきます。内部研修も引き続き積極的に開催をしていきます。 ・新型コロナウイルスの状況を見ながら外部からの研修や視察を積極的に受け入れ、頂いた意見を参考に業務や支援の見直しを行っています。 ・コドモンを導入したので、保護者様との情報共有や業務改善に積極的に活用させていただきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	%	%	毎年アンケートを実施している アンケートに限らず、保護者から頂いた意見等を参考に業務改善に努めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	%	%	ホームページ及び掲示板に掲示をしています	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	67%	33%	%	実習や視察の受け入れはしているが、コロナの影響で少なくなっている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	83%	17%	%	法人が実施する研修の他に、内部研修もやっている コロナ渦等で中止もありますが、継続して参加したい	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	%	%	保護者や職員、学校での様子などを参考に計画作成を行っている	・長期休暇中は、普段行けない場所に出掛ける機会を作るなど、公共の場での過ごし方を学んだり社会体験の機会を作ることができたので、引き続き成長段階に合わせた活動を実施していきます。 ・活動プログラムについては、固定化しないように気をつけていますが、繰り返し実施していくことで成長を評価できる部分もあります。成長した点や課題を評価しながら、保護者様の声も参考に活動内容を工夫していきます。 ・ライフサポートブックの作成や活用が十分にできていないので、情報の整理や共有に使えるツールとして活用できるよう準備を進めていきます。同時にコドモン等のツールを使用しながら情報の整理を行い、運用方法を検討しながら、より良い支援につなげるための情報共有・整理の仕組みを整えていきます。 ・保護者様との情報交換においては、送迎時にお伝えしたり、面談や電話でのお話だけでなく、ICTツールとして導入したコドモンも積極的に活用し情報発信に努めていきます。。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	83%	17%	%	検査結果等を参考にしている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	%	%	終礼やミーティングの時間に話し合いを行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	%	%	子どもたちの意見も取り入れながら様々な活動に取り組んでいる	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	83%	17%	%	長期休暇等は普段できない活動なども取り入れている 学年に応じた園外活動などを計画している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	%	%	課題、目標、手段を記載する中で個別・集団活動の場面を想定した計画作成をしている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	%	%	朝、必ず打ち合わせを行い、目的や役割分担の確認を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	%	%	終礼を行い、振り返りや次回に向けた取り組みについて話し合いをしている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	%	%	毎日記録を記入し、振り返りにも使用している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	%	%	相談支援専門員とも連携しながらモニタリングや計画の見直しを行っている	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%	%	%	ガイドライン等も参考に季節や子どもたちの状況に合わせた活動設定を行っている		
20	相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	67%	33%	%	児童発達支援管理責任者が参加しているが、他の職員が参加できる機会が少ない	・担当者会議の開催時間が、児童発達支援管理責任者以外の職員の参加が難しい時間帯が多いので、参加できる時には参加をする方向で調整をして、難しい場合には状況をまとめた資料を持参したり、映像を準備するなどして会議に必要な情報提供に一層努めていきます。	
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	%	%	適宜、学校と連絡を取り情報の確認を行っている。		
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	%	%	%	受け入れ実績がなく評価できず		

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	%	%	必要な時に情報交換を行うようになっている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	67%	33%	%	移行に際しては会議に出席したり、書面での情報提供を行っている	・地域の児童クラブ等との交流についてはニーズが高くないので、児童クラブの職員となかよしクラブの職員との繋がりを築いていけるように取り組んでいきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	%	%	進学におけるサポートについて教育委員会に相談し助言を受けながら支援を行っている	・自立支援協議会に参加し地域の課題について積極的に発信を行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17%	17%	66%	児童クラブ等を利用しながら放課後等デイを利用している児童も少なくない。また本人やその保護者からのニーズもあまりない コロナ禍で現在は難しいが、今後行ってきたいコロナのため実施できていないが、地域の児童クラブへ足を運ぶなど交流を深める	・地域で開催されるペアレントトレーニング等の情報がある場合には、情報の発信を行っていきたくと思います。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	83%	17%	%	自立支援協議会に参加をしている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	%	%	送迎時等に情報交換を行っている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	67%	33%	%	コロナ等の関係もあって実施が難しい部分がある。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	%	%	利用開始前に説明を行っているが、説明不足な点があった。	・児童発達支援から放課後デイに移行する際に説明が十分にできていなかったことがありましたので、移行前に必ずサービス変更後の利用料や事務的な手続きについての説明を担当者から行うようにします。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	%	%	解答が十分でない場合は、一度持ち帰り上司に相談した後、返答するようになっています。	・昨年度、希望者を対象とした保護者会の実施等の要望も出ていましたが、実施することができていなかったため、小規模の行事を実施する中で保護者会を開催するか、単独で開催するべきか、コロナの状況を勘案して開催方法の検討を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	33%	33%	33%	コロナのため開催ができなかった	・コロナ前は祭りを開催し地域の方々との交流機会もありましたが、不特定多数の方の出入りを制限する必要があることから、大規模なイベントの実施が難しい状況にあります。コロナの状況を見ながら地域との交流機会を持てる催しの開催を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	%	%	担当者がすぐに対応できるようにしている	・保護者との面談の際に、以前よりもタブレット端末の活用ができていなかったため、再度活用しながら経過している様子などを分かりやすく伝えていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	%	%	定期的にお便りを発行している	
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	%	%	重要な書類は鍵のかかる棚に保管するようにしている。 ICTを活用しつつ、お知らせの配信をする場合は二重、三重のチェック体制をとっている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	%	%	子どもたちに伝わりやすいように、視覚的な情報の提示やタブレット端末を使用している	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33%	33%	33%	コロナのため交流機会となるような行事の開催ができなかった。 コロナでなければ開催していた		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	%	%	職員にはマニュアルを作成し配布をしている。保護者向けにはICTを活用して配信していきたい	・コードモンの運用を開始したので、保護者向けの各種マニュアルを配信し、お手持ちのスマートフォンでいつでも確認できるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	%	%	定期的に行っている 年間を通して満遍なく参加できるように実施日を工夫している	・身体拘束を行うような関わりは今後も行うことはありません。安全面に配慮した関わりについては必要な方に個別で説明を行いますが、安全に安心して過ごせるよう支援の質の向上に努めていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	%	%	研修に参加している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	%	%	計画書に記載をしている	・非常時の対応について、送迎時に災害が発生した場合等の対応についても具体的な取り決めを行い、対策を進めています。今後も運用をしながら見直しを行っていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	%	%	食物アレルギーの児童については医師の指示書に基づいて対応します	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	%	%	事業所内で共有をしている ヒヤリハットがあった場合はすぐに報告し、予防策や反省点を話し合った後に、全体に周知しています。		